

境意の造 (3/4) : 物の利とその侵害

:

明:イスラ ムにおける 物の 理的な い方。クルア ンと 言者ムハンマドの言行 から。

目:[事イスラ ム的システム境](#)

より: アブドッラフマ ン マハディ

EB0 Jul 2012

集日 30 Jul 2012



“????????????????????????????????????????????????????????????????????????????????????????????
????????????????????????????????????????????????????????????????????????????????????24?45??

イスラ ムの天 により、神は 物に国々の 命において重要な役割を与えていたことがわか
ります。上の からわかるように、 局私たちはみな水という同じ源から作られた存在
なのです。

例えばサム ドの人々の物 から、イスラ ムでは 物に する 理的な いを教えていますし、よ
り正 に言えば、そうしなかったときの しい 果について教えています。神が神兆として
送ったラクダにサム ドの人たちが水を与えるを拒んで抑 して したことから、たった一
度の爆 でその国を破 させてしまったのです

Footnotes:

1

ラクダの害自体が神の怒りを招いたのではなく、彼らに送られた神兆を破したことで、人々がりつく神を否定し、タドの概念を否定したことになるのです。同様に、人が理由もなく他の物をつけるのは、神が人に持つように教えていることになり、人が物や植物にして与えられるべき慈悲を否定するとき、神からの人にする慈悲も彼は受けません。さらには、人が物や植物（そして人）に慈悲をかけるとき、神もかれの慈悲からその人に酬を与えます。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/361>

著作 2006-2015 断を禁じます。 2006 - 2024 IslamReligion.com. 断を禁じます。